I-O DATA

PJ-112XGA

取扱説明書

133116-01

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
4) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す場合には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
5) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
6) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
7) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
8) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
9) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
10) お客様は、本製品を一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
11) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
12) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft,Windows,MS及びMS-DOSは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

もくじ

もくじ i
安全上のご注意 iii
お読みになる前に xiv

はじめに

特徴 2
箱の中には 3

接続しよう

各部の名称と機能 6
接続する 10

投影と調整

投影する 14
投影の位置・サイズ・フォーカス 17
メニューの操作方法 20
メニューの詳細 22

サポートソフトを活用する

Windows XPの場合 30
Windows 2000の場合 39
Windows Me/98の場合 46
Windows 95 4.00.950/4.00.950aの場合 49
Windows 95 4.00.950 B/4.00.950 Cの場合 ... 52

ふろく

困ったときには 58
ランプモジュールの交換 61
リモコンに電池をセット 63
メニューの初期値一覧 64
用語解説 65
ハードウェア仕様 66

お問い合わせ 68
修理について 69

安全上のご注意

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

■警告および注意表示

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵記号の意味

△

この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「発火注意」を表す絵表示

この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「分解禁止」を表す絵表示

●

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠警告

厳守

本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。

電源プラグを抜く

異常な熱さ、煙、異常音、異臭が発生したらすぐに使用を中止してください。

万一異常が発生した場合は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、感電したり、火災の原因となります。

分解禁止

修理・改造・分解はしないでください。

火災や感電、やけど、動作不良の原因となります。

禁止

通気孔をふさがないでください。

通気孔は内部の温度上昇を防ぐものです。物を置いたり立てかけたりして通気孔をふさがないでください。内部の温度が上昇し、火災や故障の原因となります。

禁止

本製品内部へ異物をいれないでください。

内部に金属類や燃えやすい物などを入れないでください。火災や感電の原因となります。

水濡れ禁止

本製品を濡らしたり、水気の多い場所で使用しないでください。

お風呂場、雨天・降雪中、海岸・水辺での使用は火災・感電・故障の原因となります。

厳守

本製品設置の際は、周囲から適当な空間を空けてください。

目安として10㎝以上の空間を空けてください。

禁止

本製品は紙や布などの柔らかいものの上に設置しないでください。

吸気孔に吸いついて内部の温度が上昇し、火災の原因となることがあります。

禁止

本製品の近くに燃えやすいものを置かないでください。

火災の原因となることがあります。

高温注意

使用中や使用後はレンズと排気孔の周囲が熱くなりますのでご注意ください。

やけどの原因となりますので、触らないでください。

禁止

使用中はレンズをのぞかないでください。

使用中はレンズから大変強い光が発せられます。目を痛める原因となりますので、絶対にのぞかないでください。

禁止

通気孔などから金属類や燃えやすいものを入れないでください。

火災・感電の原因となります。

厳守

ランプモジュール交換の際は、必ず電源ケーブルをコンセントから抜いてください。

感電の原因となります。

禁止

ケーブルの扱いにはご注意ください。

ケーブルは付属のものを使用し、次のことに注意して取り扱ってください。取り扱いを誤ると、ケーブルが傷み、火災や感電の原因となります。

- ものをのせない
- 引っ張らない
- 折り曲げない
- 押しつけない
- 加工しない
- 熱器具のそばで使わない

厳守

電源プラグの抜き差しについて

- 電源ケーブルの抜き差しは必ずプラグ部分を持って行ってください。電源ケーブルを引っ張ると一部が断線し、火災の原因となります。
- 電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、乾いた手で行ってください。濡れた手で行うと感電の原因となります。

厳守

電源プラグなどの接触不良について

電源プラグはほこりが付着していないことを確認し、根元までしっかり差し込んでください。接触不良で火災の原因となります。

禁止

落下などによる衝撃について

落下させたり、ぶつけるなどの衝撃を与えないでください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

禁止

本製品（ソフトウェアも含む）は日本国内仕様です。

国外では使用しないでください。国外で使用した場合、弊社は一切責任を負いかねます。

禁止

本製品は下記のような場所で使用しないでください。

故障の原因となります。

- 水分や湿気の多い場所
- ほこりの多い場所
- 振動や衝撃の加わる場所
- 通気孔がふさがる場所
- 温度差の激しい場所
- 不安定な場所

厳守

温度差のある場所への移動について

移動する場所間で温度差が大きい場合は、表面や内部に結露することがあります。結露した状態で使用すると、火災や感電の原因となります。使用する場所で電源を入れずにそのまま数時間放置してからお使いください。

電源ケーブルについて

厳守

電源ケーブルの取り扱いは以下のことにご注意ください。

- 電源ケーブルを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。

感電注意

- 電源ケーブルをACコンセントから抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜いてください。ケーブルを引っ張ると、断線または短絡して、火災・感電・故障の原因となります。
- 電源ケーブルのプラグは、濡れた手でACコンセントに接続したり抜いたりしないでください。感電の原因となります。

発火注意

- 電源ケーブルがACコンセントに接続されているときには濡れた手でパソコン本体に触らないでください。感電の原因となります。
- 電源ケーブルのプラグはほこりが付着していないことを確認し、根本までしっかり差し込んでください。接触不良で火災の原因となります。

電池について

禁止

電池の液が漏れたときは、素手で液をさわらないでください。

電池の液が目に入ったり、体や衣服につくと失明やけが、皮膚の炎症の原因となります。

液が目に入ったとき ➡ 目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の診察を受けてください。

液が体や衣服についたとき ➡ すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

電池は乳幼児の手の届かない場所に置いてください。

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となります。

万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。

電池から液が漏れたら、直ちに火気より遠ざけてください。

漏れた液や気体に引火して、発火・破裂の恐れがあります。

電池を火の中に入れたり、加熱・分解・改造・充電しないでください。また、水で濡らさないでください。

液が漏れたりして、けがややけどの原因となります。

（＋）（－）を金属類で短絡させないでください。

液が漏れたりして、けがややけどの原因となります。

⚠ 注意

本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。

故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。

本製品は以下のような場所（環境）で保管・使用しないでください。

故障の原因となることがあります。

- 振動や衝撃の加わる場所
- 直射日光のあたる場所
- 湿気やホコリが多い場所
- 温湿度差の激しい場所
- 熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- 強い磁力電波の発生する物の近く
  （磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- 水気の多い場所（台所、浴室など）
- 傾いた場所
- 腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_Xなど）
- 静電気の影響の強い場所
- 保温性・保湿性の高い（じゅうたん・カーペット・スポンジ・ダンボール箱・発泡スチロールなど）場所での使用（保管は構いません）

本製品は精密部品です。以下のことにご注意ください。

- 落としたり、衝撃を加えない
- 本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- 重いものを上にのせない
- 本製品のそばで飲食・喫煙などをしない

金属など端面への接触について

使用中、金属やプラスチック部分に万一異常が発生した場合は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、感電したり、火災の原因となります。また、すぐに電源プラグが抜けるように、コンセントの周りには物を置かないでください。

ケーブルについて

- ケーブルは足などに引っ掛けないように、配線してください。足を引っ掛けると、けがや接続機器の故障の原因となります。
- ケーブルの上に重量物を載せないでください。また、熱器具のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が破れ、接触不良などの原因となります。

眼精疲労について

映像を見る作業を続けるときは、作業場を 300～1000 ルクスの明るさにしてください。また、連続作業をするときは、1 時間に 10 分から 15 分程度の休憩をとってください。長時間、映像を見続けると、眼に疲労が蓄積されます。

電波障害について

ほかの電子機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響をおよぼすことがあります。特に近くにテレビやラジオなどがある場合、雑音および映像が乱れることがあります。その場合は次のようにしてください。

- テレビやラジオなどからできるだけ離してください。
- テレビやラジオのアンテナの向きを変えてください。
- コンセントを別にしてください。

ランプ冷却のため、冷却ファン動作中は電源ケーブルを抜かないでください。

電源ケーブルは冷却ファンが停止（冷却ファンの回転音が停止）してから抜いてください。

使用後のランプモジュール交換および収納について

- 使用直後はランプモジュールが大変高温になっています。ランプモジュール交換は 1 時間程度放置して余熱がとれてから行ってください。
- 使用直後は内部が高温になっています。収納する前に 1 時間程度放置し、十分余熱をとってください。

禁止

指定の電池以外は使用しないでください。

- 指定の電池（リチウム電池（型番：CR2025））以外は使用しないでください。
- 指定以外の電池を使用した場合、故障の原因となります。

厳守

電池の極性を間違えないでください。

電池には＋極と－極があります。取り付け時には、極性に十分注意して取り付けてください。本製品の故障の原因となります。

厳守

電池を使いきったときや、長時間使用しない時は取り出してください。

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがなどの原因となります。

禁止

使用直後はランプモジュールは大変高温になっています。絶対に触れないでください。

やけどの恐れがあります。

厳守

ランプモジュールやガラスのバルブを落とさないようご注意ください。

ガラスが散り、けがをする恐れがあります。

禁止

ランプのお取り扱い時は、手袋などをして素手ではさわらないようにしてください。

禁止

ランプモジュールのプラスチック部分以外は、絶対にさわらないでください。

破損する恐れがあります。

お取り扱い

プロジェクタの設置場所

- 風通しの良い所に設置してください。
  内部の温度上昇を防ぐため、通気孔（吸気孔、排気孔）をふさがないでください。
- 高温にならない場所に設置してください。
  直射日光のあたる場所や、ストーブのような熱器具の近くに設置すると、故障の原因となります。
- 屋内に設置してください。
  屋外で使用できる構造にはなっていないので、故障の原因となります。
- 腐食性ガスの発生しない所、振動のない場所に設置してください。
  油煙や腐食性ガスの発生場所、振動が継続する場所に置くと、故障の原因となります。
- 設置場所の強度をご確認の上、安全に設置してください。

お手入れのために

- レンズが汚れた場合は、脱脂綿か柔らかいきれいな布で軽く拭き取ってください。
- レンズ部分以外の汚れは、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませて軽く絞ってから、軽く拭いてください。ベンジンやシンナーなどの溶剤は避けてください。
- レンズに水滴などをつけたまま放置しないでください。水滴などがついた場合はすぐに脱脂綿や柔らかい布などで拭き取ってください。放置しておくと表示面が変色したり、シミの原因となります。また、水分が内部へ侵入すると故障の原因となります。

廃棄について

廃棄にあたっては、地方自治体の条例または規則にしたがってください。

ランプ寿命

- 本製品に使用しているランプには寿命があります。（約1,500時間）
  ランプモジュールの交換時期は、画面上に警告メッセージを表示してお知らせします。新しい専用のランプモジュールに交換してください。ランプモジュール交換後はメニューで「ランプ時間をリセット」（26ページ）の作業を行う必要があります。
  ランプモジュールの交換手順については61ページをご覧ください。
  ※ ランプモジュールは消耗品ですので、保証の対象にはなりません。
  ※ 上記のランプ寿命は、あくまでも目安です。多少異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

その他

- ご使用にならないときは、ほこりが入らないようカバーなどをかけてください。
- レンズ部分の周囲を押さえたり、その部分に過度の負担がかかる状態で持ち運んだりしないでください。レンズ部分が破損するおそれがあります。
- レンズ部分の表面は傷つきやすいので、工具や鉛筆、ボールペンなどの固いもので押したり、叩いたり、こすったりしないでください。
- 本製品の取り付けや取り外しのときは、必ず、パソコン本体および周辺機器の電源を切ってから行ってください。
- 本製品の修理は弊社センターにご依頼ください。詳細については69ページを参照してください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

お読みになる前に

ここでは、本書内で呼ばれている言葉の意味について説明しています。

呼び方	意　味
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Professional Operating Systemおよび Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System の総称
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating Systemおよび Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating System の総称
Windows 95	Microsoft® Windows® 95 Operating System
Windows Me/98/95	Windows Me、Windows 98およびWindows 95の総称
Windows	Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95および Windows 2000の総称

はじめに

箱を開けてから、作業に取り掛かるまでの準備を行います。

特徴 2ページ

本製品の特徴について説明します。

箱の中には 3ページ

本製品内にどんな物が入っているか確認します。

ユーザー登録とサポートソフトのダウンロードについて

▼ここに本製品のシリアル番号をメモしてください。

シリアル番号は本製品底面に貼られているシールに印字されている 12 桁のものです。（ 例：ABC0987654ZX ）
シリアル番号は、ユーザー登録の際に必要です。
また、弊社ホームページよりサポートソフトをダウンロードする際にも必要な場合があります。

●ユーザー登録　⇒http://www.iodata.jp/regist/
●サポートソフトのダウンロード⇒http://www.iodata.jp/lib/

特徴

980g の軽量コンパクト

モバイルプレゼンテーションに最適。携帯に便利なキャリングケースを標準装備。

シングルチップDLP™方式

DLP技術により、鮮明で明るく自然な投影が可能です。

Carl Zeiss（カール ツァイス）社製レンズを搭載

信頼性の高い高性能レンズを使用しています。

最大267型の投影画面サイズ

本体の調整や投影距離の調整で、28型から267型まで投影できます。

台形補正機能（キーストン補正機能）を搭載

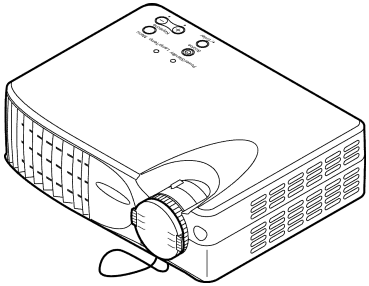
プロジェクタの傾きによって起こる投影画面のゆがみを調整する機能を搭載しています。

安心の2年保証

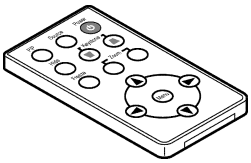
ご購入後2年間無料保証いたします。安心してお使いいただけます。
※ ランプモジュールは除きます。

箱の中には

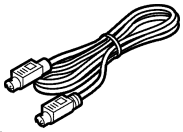
箱の中には以下のものが入っています。
□ にチェックをつけながら、ご確認ください。



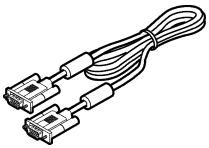
□ プロジェクタ本体
（PJ-112XGA）



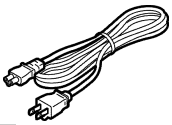
□ リモコン



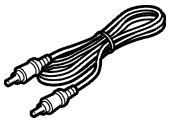
□ S ビデオケーブル
（2m）



□ アナログ RGB 接続ケーブル
（2m）



□ 電源ケーブル
（1.8m）



□ コンポジットケーブル
（1.5m）

□ PJ-112XGA サポートソフト
（CD-ROM）

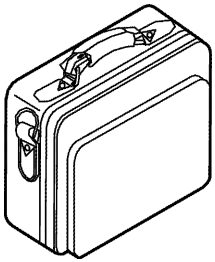
□ リチウム電池（1 個）
（型番：CR2025）
※ リモコンの動作確認用です。できるだけ早く新しい電池とお取替えください。

☑ 取扱説明書

☐ 簡単ガイド
（クイックリファレンス）

☐ ピックアップリペア
サービスのご案内

☐ ハードウェア保証書



☐ キャリーケース

万一不足品がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

注意！

箱･梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にご使用ください。

接続しよう

本製品の各部の名称を確認し、映像機器を接続します。

各部の名称と機能 6ページ

各部分の名称と機能を確認してください。

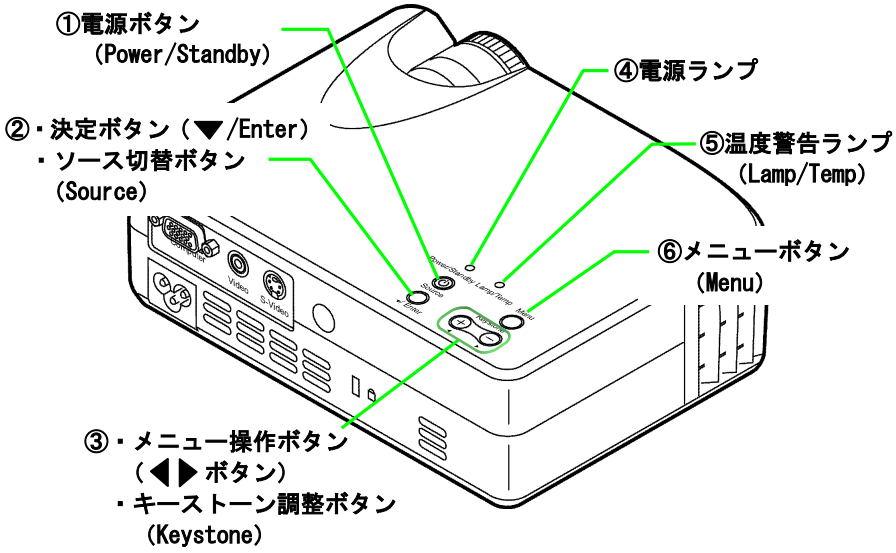
接続する 10ページ

本製品に映像機器を接続します。パソコンやビデオが接続できます。

各部の名称と機能

各部分の名称と機能をご確認ください。

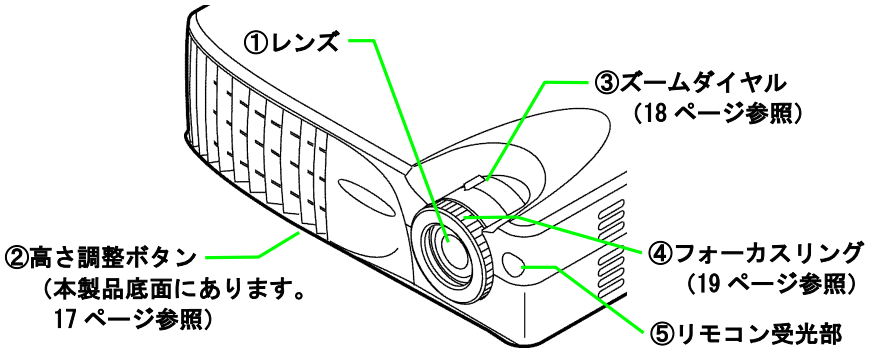
上面（パネルコントロール部）



①電源ボタン	電源をオン/オフします。
②・決定 **・ソース切替ボタン**	投影する映像機器を切り替えます。 メニューでは、調整/設定項目の選択を行います。
③・メニュー操作ボタン **（◀▶ボタン）** **・キーストーン調整ボタン**	メニュー表示時は値の調整を行ないます。 画面が台形に表示される場合に調整します。 ◀ボタンを押すと画面上部が広がります。 ▶ボタンを押すと画面下部が広がります。
④電源ランプ	以下のように点灯/点滅し、状態を表示します。 緑点滅…ウォームアップ中 緑点灯…投影中 オレンジ点滅…冷却ファン動作中 オレンジ点灯…待機状態（ファン静止）

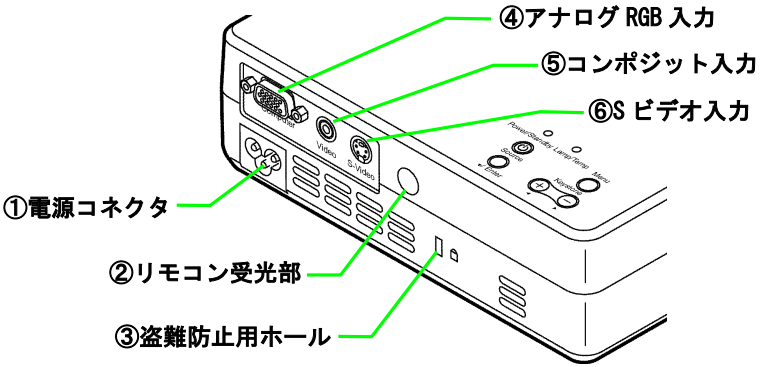
⑤温度警告ランプ	以下のように点灯/点滅し、状態を表示します。 赤点灯…本製品内部が高温になった時 赤点滅…本製品内部で何らかの問題があった時 オレンジ点滅…高速冷却モードになった時 ※ オレンジ点滅はファンの動作状態を表しています。故障ではありません。 ※ 警告ランプが赤点灯または赤点滅した場合は本製品の電源が自動的にオフになりますので、冷却ファン停止後コンセントを抜き、弊社サポートセンターへご連絡ください。
⑥メニューボタン	投影画面にメニューを表示します。（20ページ参照）

前面



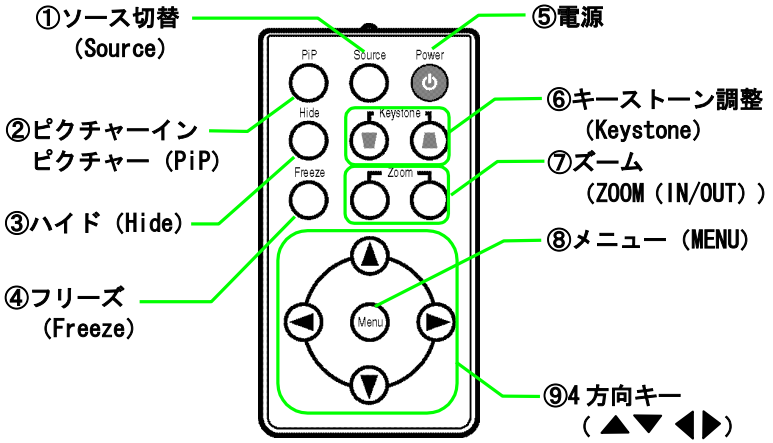
①レンズ	映像機器の映像を投影します。
②高さ調整ボタン	投影位置の高さを調整します。
③ズームダイヤル	左右に動かして投影画面の大きさを調整します。
④フォーカスリング	左右に動かしてフォーカスを調整します。
⑤リモコン受光部	リモコンにて操作する場合は前面からリモコンをこの部分に向けて操作してください。

背面



①電源コネクタ	付属の電源ケーブルを接続します。
②リモコン受光部	背面からリモコンにて操作する場合はリモコンをこの部分に向けて操作してください。
③盗難防止用ホール	必要に応じて市販のセキュリティケーブルを取り付けます。
④アナログRGB入力	付属のアナログRGB接続ケーブルでパソコンと接続します。
⑤コンポジット入力	付属のコンポジットケーブルで映像機器と接続します。
⑥Sビデオ入力	付属のSビデオケーブルで映像機器と接続します。

リモコン

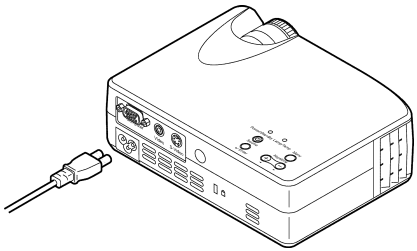


①ソース切替	投影する入力ソースを切り替えます。
②ピクチャーイン ピクチャー (PiP)	ピクチャーインピクチャー機能を有効にします。再び押すとピクチャーインピクチャー機能を無効にします。ピクチャーインピクチャー機能ではパソコン画面投影中、画面の一部にビデオ画面を表示することができます。
③ハイド	表示をいったん中止します。通常のオン/オフでは停止および再投影に時間がかかりますが、この場合は即座に表示の中止および再表示ができます。 (15ページ参照)
④フリーズ	画面を静止させます。再び押すと解除します。 (16ページ参照)
⑤電源	投影をオン/オフします。(14、15ページ参照)
⑥キーストーン調整	画面が台形に表示される場合にこれを調整します。 ◀ボタンを押すと画面上部が広がります。 ▶ボタンを押すと画面下部が広がります。
⑦ズーム	画面を32段階でズームイン/ズームアウトします(最大22倍まで)。 ※ ズームイン中は4方向キーで表示個所を移動できます。
⑧メニュー	メニューを表示します。再び押すと終了します。
⑨4方向キー	メニューで ▲▼ ◀▶ の操作として使用できます。 ▼はメニュー表示中Enterキーとして使用します。

接続する

本製品は、ビデオまたはSビデオ出力のある映像機器およびパソコンを接続して各画面を投影することができます。
必要に応じて各機器を接続してください。

1 本製品背面の電源コネクタに電源ケーブルを接続します。



2 必要に応じて映像機器およびパソコンを接続します。

接続する機器に合わせて以下の各ページを参照してください。
すべて接続する場合は、すべてのページを参照して正しく接続してください。

S ビデオ出力のある映像機器を接続する → 次ページ

コンポジットビデオ出力のある映像機器を接続す → 次ページ

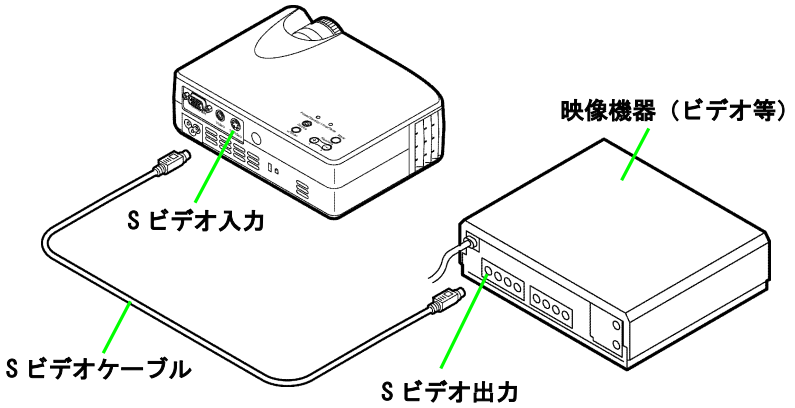
パソコンを接続する → 12 ページ

3 電源ケーブルをコンセントに接続します。

電源ランプがオレンジ色で点灯します。

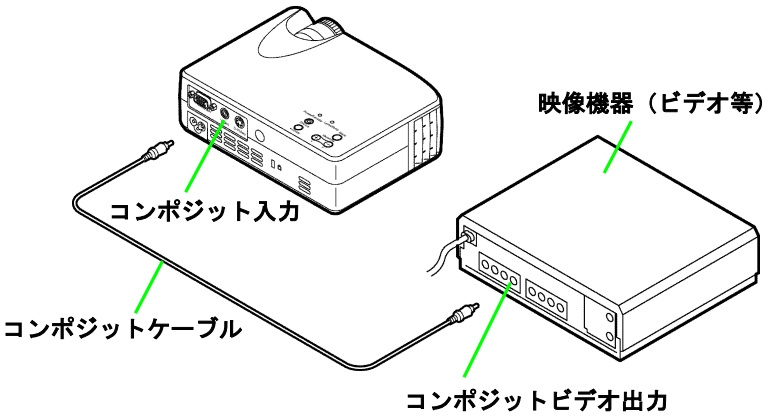
Sビデオ出力のある映像機器を接続する

映像機器のSビデオ出力と本製品のSビデオ入力を付属のSビデオケーブルで接続します。



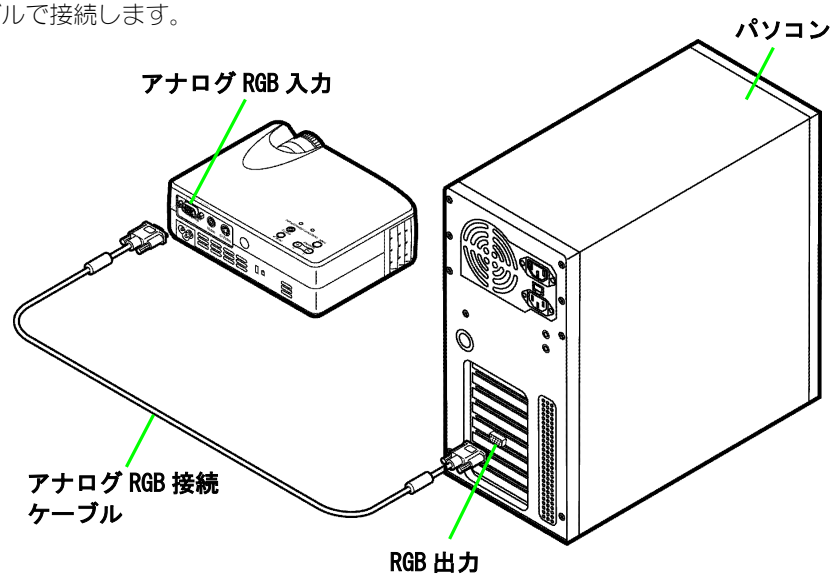
コンポジットビデオ出力のある映像機器を接続する

映像機器のコンポジット出力と本製品のコンポジット入力を付属のコンポジットケーブルで接続します。



パソコンを接続する

パソコンのRGB出力端子と本製品のアナログRGB入力を付属のアナログRGB接続ケーブルで接続します。



投影と調整

実際に投影して、投影画面を調整します。

投影する 14ページ

電源をオンにすると投影を開始します。

投影の位置･サイズ･フォーカス 17ページ

投影位置の高さ、フォーカス、サイズを調整します。

メニューの操作方法 20ページ

メニューの操作方法を説明しています。
投影して特に不都合な点がなければメニューの調整/設定をする必要はありません。

メニューの詳細 22ページ

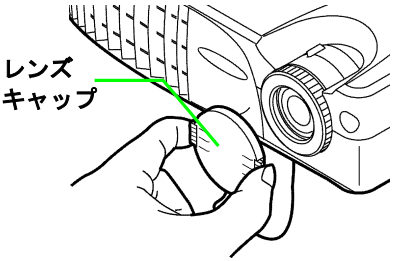
メニューの各項目について説明しています。

投影する

電源をオンにする

1 レンズキャップを取り外します。

図のようにレンズキャップの端2個所にあるボタンを押しながら外します。

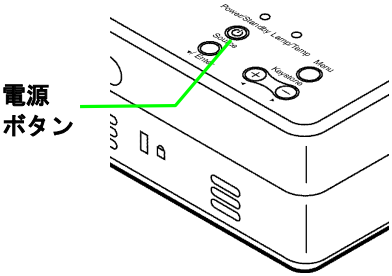


2 各ケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。

※ この時電源ランプはオレンジ色で点灯しています。

3 リモコンか、パネルコントロールの電源ボタンを押します。

電源ランプが緑色に点滅します。スタートアップ画面が約30秒間表示された後、電源ランプは緑色に点灯します。



4 接続した映像機器の電源をオンにします。

本製品は自動的に映像機器を検出し投影します。

注意！

- **画面に何も表示されない場合は、各ケーブルがしっかりと接続されているか確認してください。**
- **リモコンはプロジェクタ本体から 5m の範囲内で、プロジェクタ本体のリモコン受光部に向けて操作してください。**
  リモコン受光部は前面、背面の両方にあります。（7、8 ページ参照）

電源をオフにする

1 リモコンか、パネルコントロールの電源ボタンを押します。
投影画面に「電源を切る場合はもう一度Powerキーを押してください。」と表示されます。

2 再び電源ボタンを押します。
ここで電源ボタンを押さなかった場合は、約5秒後に元の画面に戻ります。

注意！

・温度警告ランプの点灯は、本製品が高温になっていることを示します。このとき本製品では自動的に電源がオフになります。温度警告等、警告ランプにて電源がオフになった場合は必ずコンセントから電源ケーブルを抜いてください。
しばらく放置して本製品が冷めると再度オンにすることができますが、問題が続く場合は弊社サポートセンターまでお問い合わせください。
・いったん電源をオフにした直後に再度電源をオンにした場合、保護回路の働きによりすぐには投影しない場合があります。これは故障ではありません。本製品が冷めるまでしばらくお待ちください。
・電源ケーブルを取り外す場合は、電源をオフにして本製品の冷却ファンが停止（冷却ファンの回転音が停止）するのを待ってから取り外してください。
冷却ファンは電源オフ後、約 100 秒間で停止します。

表示の中止と再開

表示をいったん中止します。通常のオン／オフでは停止および再投影に時間がかかりますが、この場合は即座に表示の中止および再表示ができます。
プレゼンテーション中のアプリケーションを切り替える場面等、見せたくない表示の時だけ投影を中止させることができます。投影中止中のパソコン操作はパソコンに別途ディスプレイを接続して行ってください。

注意！

この機能はリモコンでのみ使えます。

1 投影中にリモコンのハイドボタンを押します。
画面に「ビデオミュート中：[Hide]ボタンを再度押して表示」と表示され、表示を中止します。

2 表示を再開する場合は再度ハイドボタンを押します。

便利な機能

●台形補正

投影画面が台形状になる場合にこれを調整します。

リモコンか、パネルコントロールのキーストーン調整ボタンで調整します。

●表示を静止

動きのある映像を投影中に画面を静止させることができます。

注意！

- **この機能はリモコンでのみ使えます。**
- **静止画データとしてパソコンなどに保存することはできません。**
- **投影画面が静止するだけで、映像機器の映像が静止するわけではありません。**

1 **投影中にリモコンのフリーズボタンを押します。**
画面に「フリーズ」と表示され、表示を静止します。

2 **解除する場合は再度フリーズボタンを押します。**

●ズーム

画面をズームイン/アウトします。

リモコンのズームボタンで調整します。
ズーム中はリモコンの4方向キーでズーム位置を移動できます。

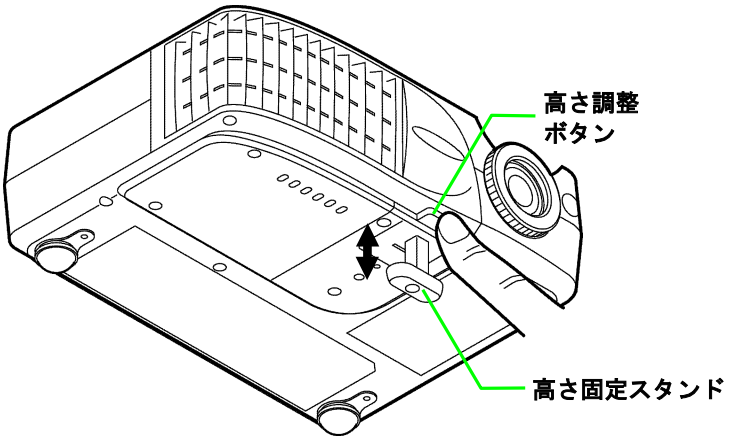
投影の位置・サイズ・フォーカス

投影位置の高さを調整する

投影位置（投影の上下位置）の調整は、高さ調整ボタンで行います。

1 **高さ調整ボタンを押しながら本製品を持ち上げたり押し下げたりして調整します。**

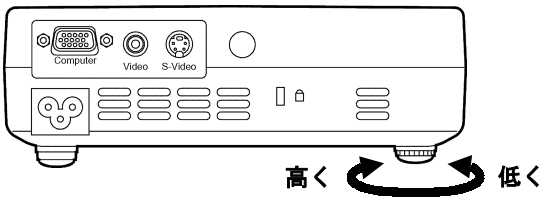
2 **ちょうど良い高さで高さ調整ボタンを放します。**
位置が固定されます。



参考

傾きの微調整には微調整ネジをご使用ください。

▼ 背面



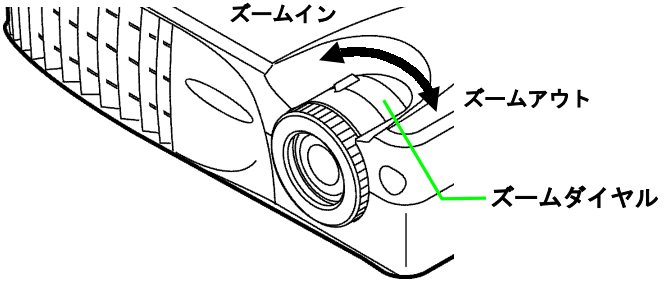
投影サイズを調整する

1 スクリーンと本製品の距離を調整します。

スクリーンと本製品間の距離を遠ざけると大きくなり、近づけると小さくなります。距離は1.2～10mの範囲で調整してください。

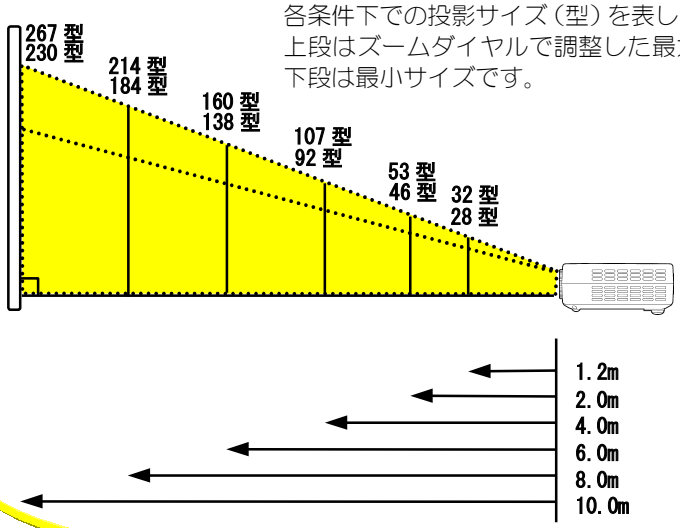
2 ズームダイヤルを調整します。

ズームダイヤルを左右に動かすことによって1.0～約1.16倍の範囲で調整することができます。



距離と投影サイズの関係

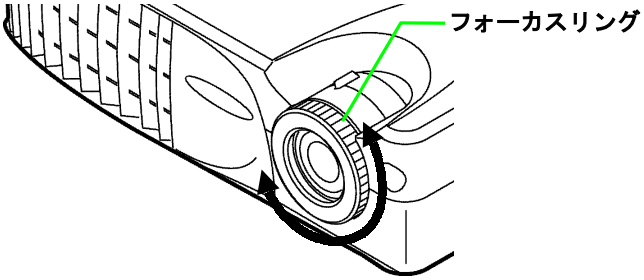
各条件下での投影サイズ（型）を表しています。
上段はズームダイヤルで調整した最大サイズ、
下段は最小サイズです。



投影フォーカスを調整する

フォーカスリングを回転させます。

左右に回転させ、投影している画面が鮮明になるように調整します。



注意！

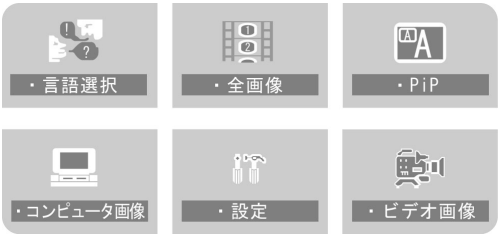
スクリーンと本製品間の距離が 1.2m 以内、または 10m 以上の場合、うまくフォーカスを合わせることはできません。

メニューの操作方法

本製品にはメニュー（OSD（オンスクリーンディスプレイ））が搭載されており、さまざまな設定を簡単に変更したり、表示を調整することができます。
※ リモコンを使う場合は電池をセットしてください（63ページ参照）。

1 リモコンか、パネルコントロールのメニューボタンを押します。

投影画面にメインメニューが表示されます。



2 メインメニューから調整/設定したい項目を選択します。

リモコンの場合 ◀▶ボタンで選択して▼ボタンを押します。

パネルコントロールの場合 ◀▶ボタンで選択して決定ボタンを押します。

詳細メニューが表示されます。
各詳細メニューについては22ページをご覧ください。

3 詳細メニューの調整/設定したい項目を選択します。

リモコンの場合 ▼ボタンで選択します。

パネルコントロールの場合 決定ボタンで選択します。

選択した項目は、灰色になります。

4 値を調整/設定します。

リモコンの場合 → メニューボタン ◀▶で調整/設定します。

パネルコントロールの場合 → メニュー操作ボタン ◀▶ で調整/設定します。

他に調整/設定したい項目があれば、再度手順 3 から作業を行います。

5 各調整/設定が完了したら、リモコンか、パネルコントロールのメニューボタンを押します。

他の項目を調整/設定したい場合は、再度手順 2 から作業を行います。

6 リモコンか、パネルコントロールのメニューボタンを押します。

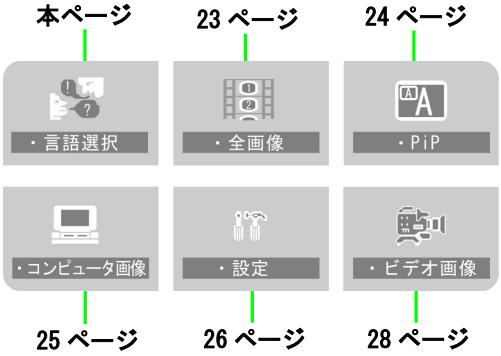
メニューが終了します。

注意！

メニューは何も操作をしなかった場合、約 30 秒で自動的に消えます。

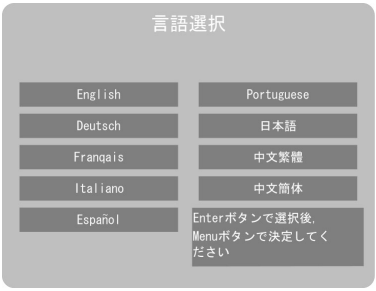
メニューの詳細

各詳細メニューについては、以下のページを参照してください。
メニューの操作方法については20ページをご覧ください。



言語選択

メニュー内の言語を選択します。



English	メニューを選択した言語で表示します。 ▼ で選択します。 選択後、メニューボタンで決定します。
Deutsch	
Francais	
Italiano	
Espanol	
Portuguese	
日本語	
中文繁體	
中文簡体	

全画像

パソコン入力時もビデオ入力時も
調整可能なメニューです。

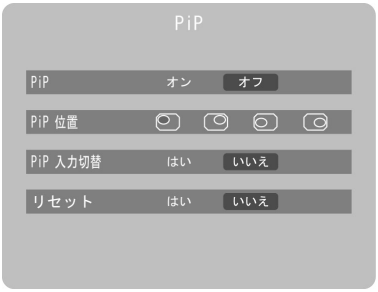
明度	画面の明るさを調整します。 ◀ ボタンを押すと画面が暗くなります。 ▶ ボタンを押すと画面が明るくなります。
コントラスト	コントラストを調整します。 ◀ ボタンを押すとコントラスト比が減少します。 ▶ ボタンを押すとコントラスト比が増加します。
画像の最適化	ホワイトセグメントを調整します。入力ソースをコンピュータにすると明るさを優先した設定になります。入力ソースをビデオにするとRGB（赤/緑/青）を優先した設定になります。 ◀ ボタンを押すとRGB（赤/緑/青）の度合いが強調されます。 ▶ ボタンを押すと明るさの度合いが強調されます。
色温度	色温度をMovie2（8000K）、Movie1（5500K）、5000K、6500K、7300K、9300Kの中から選択します。 ◀ ▶ ボタンで選択します。 Movie2…8000K　　2…6500K Movie1…5500K　　3…7300K 1……5000K　　4…9300K 値が小さいほど黄色っぽい画面になり、値が大きいと青っぽい画面になります。
キーストン調整	画面が台形に表示される場合に調整します。 ◀ ボタンを押すと画面上部が広がります。 ▶ ボタンを押すと画面下部が広がります。

ズーム	画面を32段階でズームイン/アウトします。 ◀ ボタンを押すと画面をズームアウトします。 ▶ ボタンを押すと画面を最大22倍までズームインします。
縦横比	縦横比（アスペクト比）を16：9または4：3に切り替えます。 ◀ ボタンを押すと16：9にします。 ▶ ボタンを押すと4：3にします。
リセット	◀ ボタンで「はい」を選択すると、このメニュー内の各設定が初期値に戻ります。

PiP（ピクチャーインピクチャー）

ピクチャーインピクチャー機能ではパソコン画面（メイン画面）の隅にビデオ画面（サブ画面）を表示することができます。

※ パソコン画面を表示中で、ビデオ機器も接続しており、再生状態にしているときのみこの機能を使用できます。

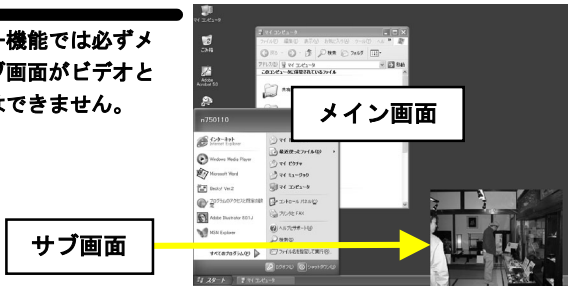


PiP	ピクチャーインピクチャーのオン/オフを切り替えます。 ◀ ボタンで「オン」を選択するとサブ画面にビデオ画像を表示します。 ▶ ボタンで「オフ」を選択するとサブ画面を消します。	
PiP位置	サブ画面の表示位置を◀▶ ボタンで選択します。	
	左上	サブ画面を左上に表示します。
	右上	サブ画面を右上に表示します。
	左下	サブ画面を左下に表示します。
	右下	サブ画面を右下に表示します。

PiP入力切替	Sビデオとコンポジットビデオの両方が接続されている場合、サブ画面にどちらを表示するかを◀▶ボタンで切り替えます。 ※ メイン画面には常にパソコン画面が表示されます。
リセット	◀ボタンで「はい」を選択すると、このメニュー内の各設定が初期値に戻ります。

注意！

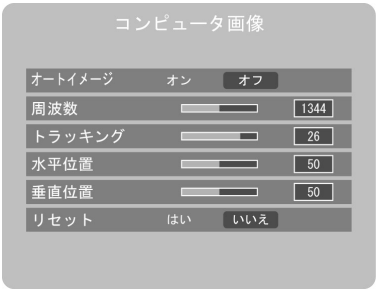
ピクチャーインピクチャー機能では必ずメイン画面がパソコン、サブ画面がビデオとなります。逆にすることはできません。



コンピュータ画像

パソコン画面投影時の各種調整/設定を行います。

※ パソコン接続時のみ設定できます。

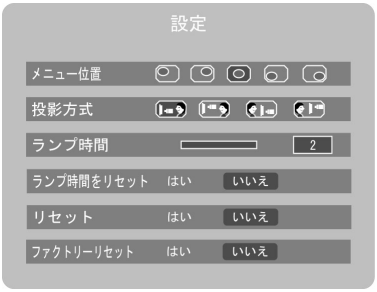


オートイメージ	◀ ボタンで「オン」を選択すると、画像の自動調整を行ないます。
周波数	表示幅の調整ができます。 ◀ ボタンを押すと幅が狭くなります。 ▶ ボタンを押すと幅が広くなります。

トラッキング	画面にノイズがでる場合に調整します。 ◀▶ ボタンで値を増減させてノイズが無くなるようにします。
水平位置	◀ ボタンを押すと画面全体が左へ移動します。 ▶ボタンを押すと画面全体が右へ移動します。
垂直位置	◀ ボタンを押すと画面全体が下へ移動します。 ▶ ボタンを押すと画面全体が上へ移動します。
リセット	◀ ボタンで「はい」を選択すると、このメニュー内の各設定が初期値に戻ります。

設定

投影方法やランプに関する設定を行います。



メニュー位置	投影画面上でのメニューの表示位置を◀▶ ボタンで選択します。	
	左上	メニューを左上に表示します。
	右上	メニューを右上に表示します。
	中央	メニューを中央に表示します。
	左下	メニューを左下に表示します。
	右下	メニューを右下に表示します。

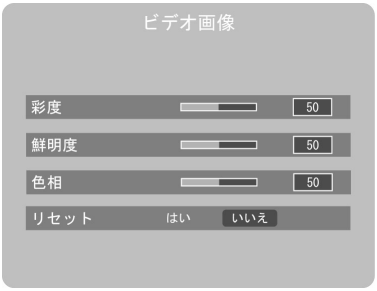
投射方式	投影方法を◀▶ボタンで選択します。	
	前面投影	スクリーンの前面から投影する場合に選択します。
	裏面投影	画面の左右を反転して表示します。スクリーンの裏面から投影する場合に選択します。
	前面天井投影	画面の上下を反転して表示します。天井に取り付けて※スクリーンの前面から投影する場合に選択します。
	裏面天井投影	画面の上下左右を反転して表示します。天井に取り付けて※スクリーンの裏面から投影する場合に選択します。
ランプ時間	ランプモジュールの使用経過時間を表示しています。 ランプ時間が1,400時間を過ぎると「ランプを交換してください」のメッセージが表示されます。 ランプモジュールの交換については【ランプモジュールの交換】61ページをご覧ください。	
ランプ時間をリセット	◀ボタンで「はい」を選択すると「ランプ時間」を0にします。ランプの交換を行った後はランプ時間をリセットしてください。	
リセット	◀ボタンで「はい」を選択すると、このメニュー内の各設定が初期値に戻ります。	
ファクトリーリセット	◀ボタンで「はい」を選択すると本製品の各設定が初期値に戻ります。 ※ 「ランプ時間」、「PiP」、「PiP位置」は初期値に戻りません。	

※ 取り付け器具は必要に応じて別途ご用意ください。
取り付け器具の取扱説明書をよく読んで正しく取り付けてください。

ビデオ画像

ビデオを投影時の各種調整/設定を行います。

※ Sビデオ入力時またはコンポジットビデオ入力時のみ設定できます。



彩度	色の濃さを調整します。 ◀ボタンを押すと色が薄くなります。 ▶ボタンを押すと色が濃くなります。
鮮明度	鮮明度を調整します。 ◀ボタンを押すと鮮明度が強くなります。 ▶ボタンを押すと鮮明度が弱くなります。
色相	画面の赤と緑のバランスを調整します。 ◀ボタンを押すと緑の度合いが強くなります。 ▶ボタンを押すと赤の度合いが弱くなります。
リセット	◀ボタンで「はい」を選択すると、このメニュー内の各設定が初期値に戻ります。

サポートソフトを活用する

映像機器としてパソコンを接続する場合は、サポートソフトのインストールをおすすめします。

Windows XPの場合 30ページ

Windows 2000の場合 39ページ

Windows Me/98の場合 46ページ

Windows 95 4.00.950/4.00.950aの場合 49ページ

Windows 95 4.00.950 B/4.00.950 Cの場合 52ページ

参考

- サポートソフトをインストールしなくてもパソコン画面の投影はできます。ただしサポートソフトをインストールすると本製品に適した解像度、および周波数の設定が可能になるため、インストールしておくことをおすすめします。
- 上記以外のOSではサポートソフトをインストールする必要はありません。取り付け後はそのままお使いください。

Windows XP の場合

※ 画面は「Windows XPスタイル」に設定した場合のものです。

Windows XPスタイルにする

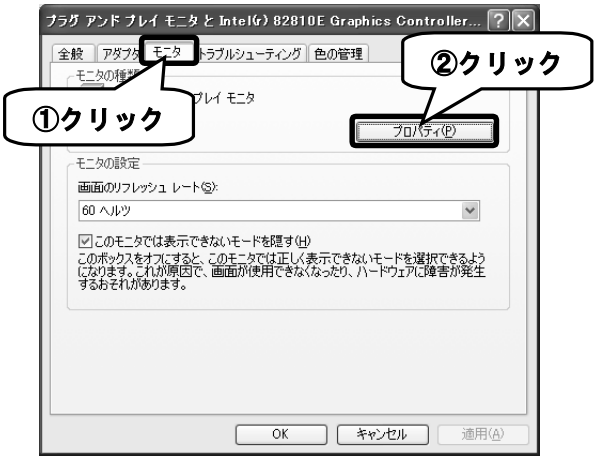
デスクトップ(壁紙)を右クリック→[プロパティ]→[デザイン]タブ→[ウィンドウとボタン]で[Windows XP スタイル]を選択します。

1 **Windows XPを起動します。**
コンピュータの管理者の権限でログオンしてください。

2 **デスクトップ（壁紙）上で右クリック→[プロパティ]をクリックします。**
［画面のプロパティ］が起動します。

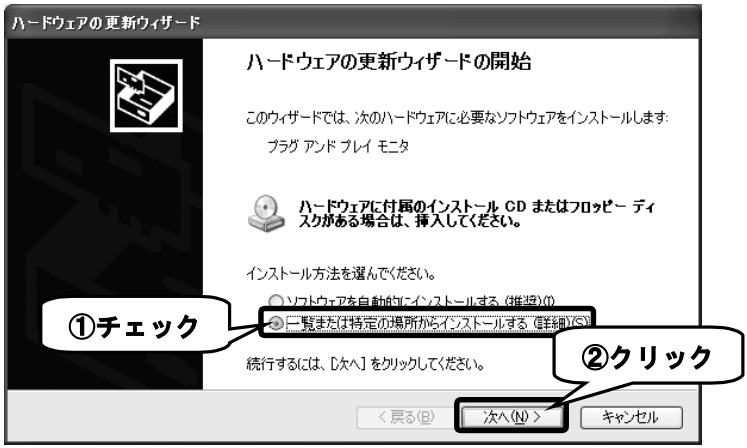
3 **［設定］タブ→[詳細]ボタンをクリックします。**

4 [モニタ] タブ→[プロパティ]ボタンをクリックします。

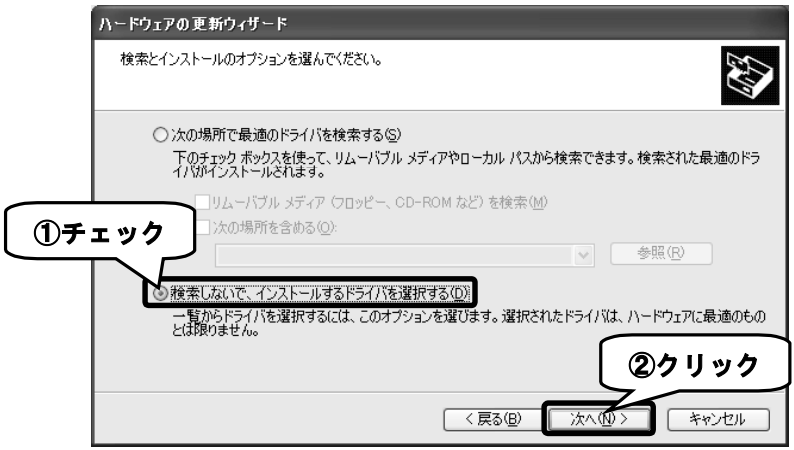


5 [ドライバ]タブ→ [ドライバの更新] ボタンをクリックします。

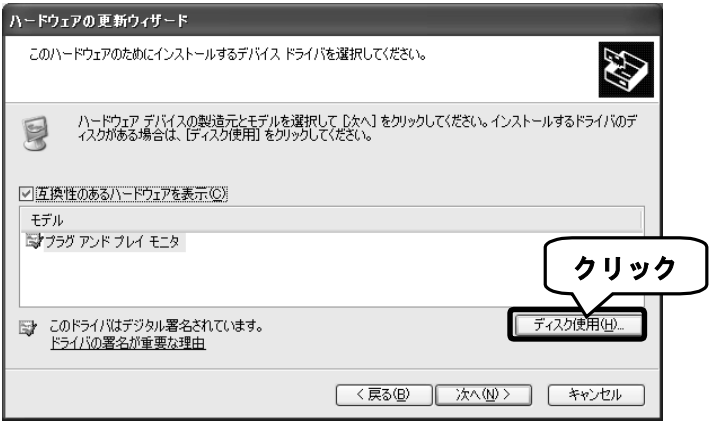
6 [一覧または特定…]をチェック→ [次へ] ボタンをクリックします。



7 [検索しないで…] をチェック→[次へ]ボタンをクリックします。



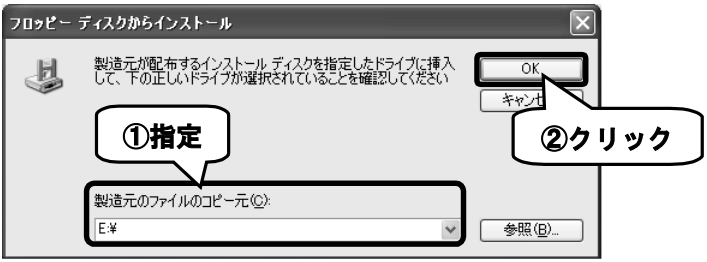
8 [ディスク使用]ボタンをクリックします。



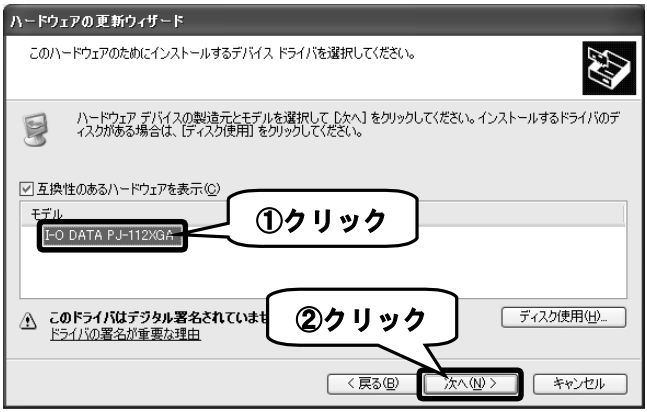
9 「PJ-112XGAサポートソフト」をCD-ROMドライブにセットします。

10 [製造元のファイルのコピー元]でCD-ROMドライブを指定→[OK]ボタンをクリックします。

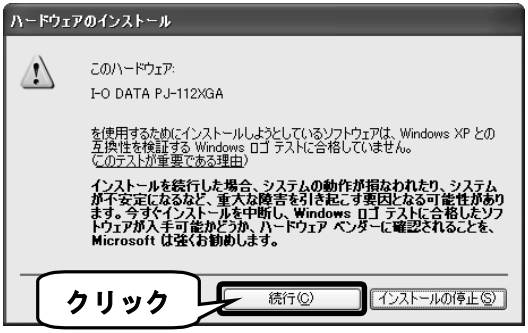
▼ CD-ROMドライブがEの場合の指定例



11 [I-O DATA PJ-112XGA] をクリック→[次へ]ボタンをクリックします。



12 [続行]ボタンをクリックします。

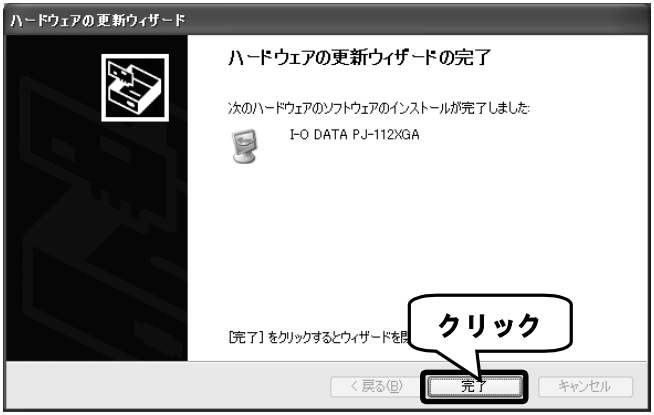


参考

弊社製ソフトウェアが確認された時点でマイクロソフトが認証するソフトウェアでは無いというメッセージが表示されますが、特に問題ありませんのでそのまま続行します。

→マイクロソフト社は、WHQL という組織においてパソコン本体や周辺機器などを対象に認定手続きを実施しております。このたびお買い上げいただいた製品は現時点では認定を受けておりませんが、問題なくご利用いただけます。

13 ［完了］ボタンをクリックします。



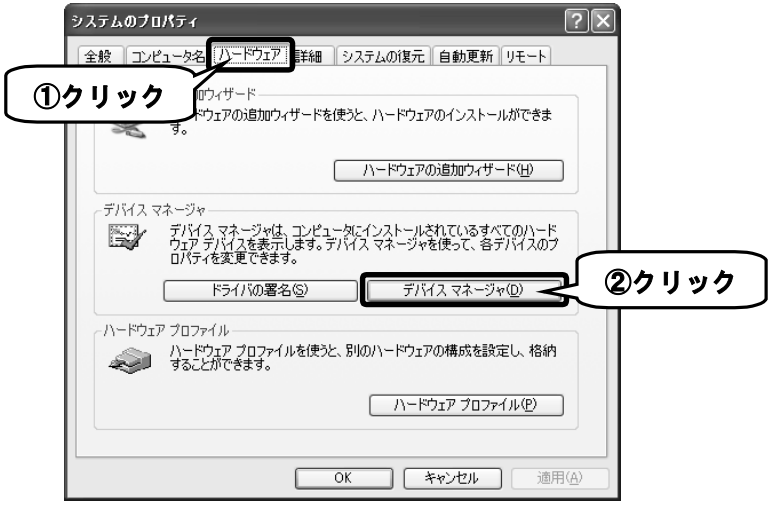
以上でWindows XPへのインストールは終了です。
次は【インストール後の確認（Windows XP）】（次ページ）にお進みください。

インストール後の確認(Windows XP)

本製品がWindows XP上で正常に認識されているかどうかを[デバイスマネージャ]で確認します。[デバイスマネージャ]上で正しく表示されていればインストール作業は正常に完了しています。

1 **[スタート]→[マイコンピュータ]を右クリック→[プロパティ]をクリックします。**

2 [ハードウェア]タブをクリック→[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。



3 [モニタ]をダブルクリックします。

4 **本製品が正常に認識されていることを確認します。**

[モニタ]下に[I-O DATA PJ-112XGA]が表示されている場合は、正しく認識されています。

正しく表示されていれば正常です。

本製品をお使いください。

参考

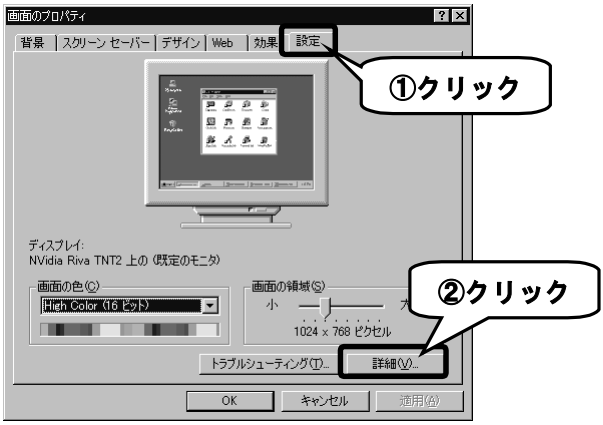
解像度・色数の変更は、デスクトップ上を右クリック→[プロパティ]をクリック→［画面のプロパティ］で行ってください。

Windows 2000 の場合

1 **Windows 2000を起動します。**
Administratorの権限でログオンしてください。

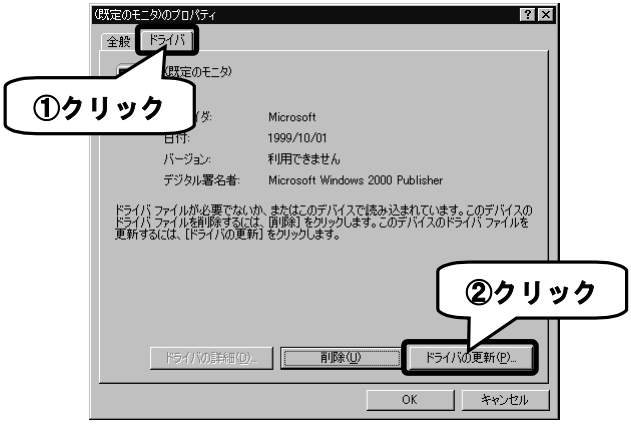
2 **デスクトップ（壁紙）上で右クリック→[プロパティ]をクリックします。**
［画面のプロパティ］が起動します。

3 **［設定］タブ→[詳細]ボタンをクリックします。**

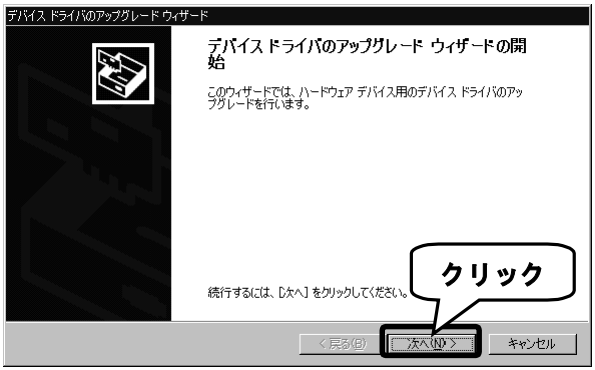


4 **［モニタ］タブ→[プロパティ]ボタンをクリックします。**

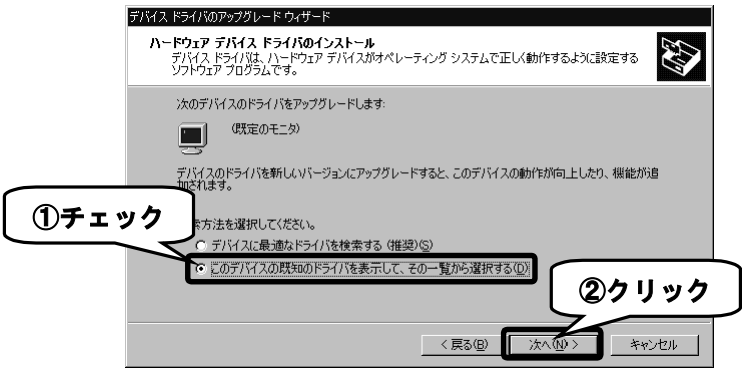
5 ［ドライバ］タブ→［ドライバの更新］ボタンをクリックします。



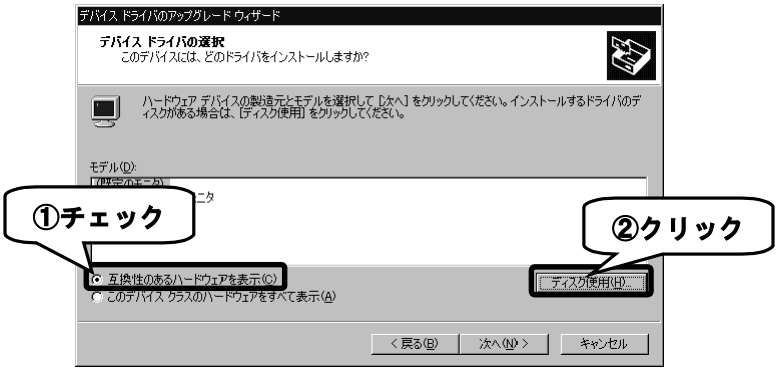
6 ［次へ］ボタンをクリックします。



7 [このデバイスの…] をチェック→[次へ]ボタンをクリックします。



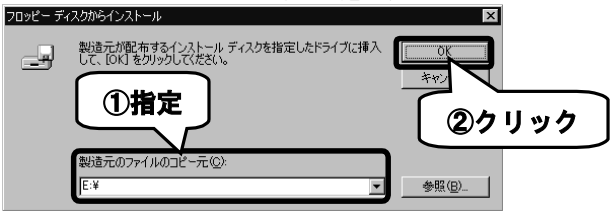
8 [互換性のある…]をチェック→[ディスク使用]ボタンをクリックします。



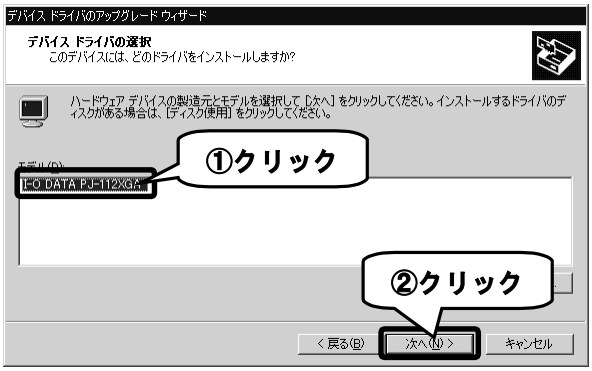
9 **「PJ-112XGAサポートソフト」をCD-ROMドライブにセットします。**

10 **［製造元のファイルのコピー元］でCD-ROMドライブを指定→［OK］ボタンをクリックします。**

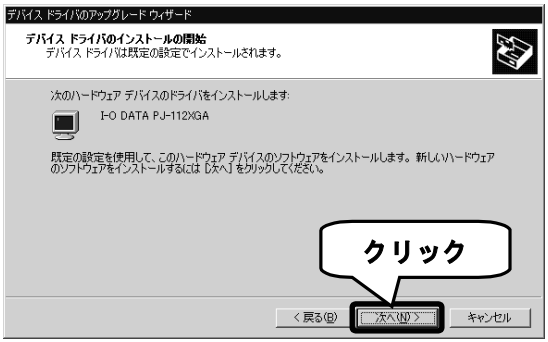
▼ CD-ROMドライブがEの場合の指定例



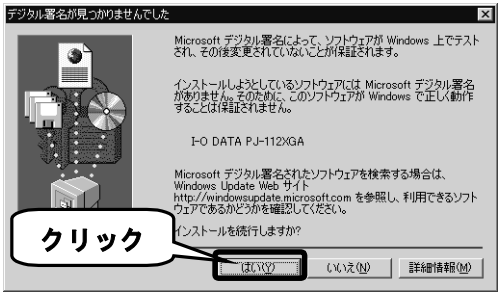
11 **［I-O DATA PJ-112XGA］をクリック→[次へ]ボタンをクリックします。**



12 ［次へ］ボタンをクリックします。



13 ［はい］ボタンをクリックします。



参考

弊社製ソフトウェアが確認された時点でマイクロソフトが認証するソフトウェアでは無いというメッセージが表示されますが、特に問題ありませんのでそのまま続行します。
→マイクロソフト社は、WHQL という組織においてパソコン本体や周辺機器などを対象に認定手続きを実施しております。このたびお買い上げいただいた製品は現時点では認定を受けておりませんが、問題なくご利用いただけます。

14 ［完了］ボタンをクリックします。

15 ［閉じる］ボタンをクリックします。

手順 4 の画面に戻るので、[閉じる]ボタンをクリックし、さらに[画面のプロパティ]の[閉じる]ボタンをクリックします。

以上でWindows 2000へのインストールは終了です。
次は【インストール後の確認（Windows 2000）】（次ページ）にお進みください。

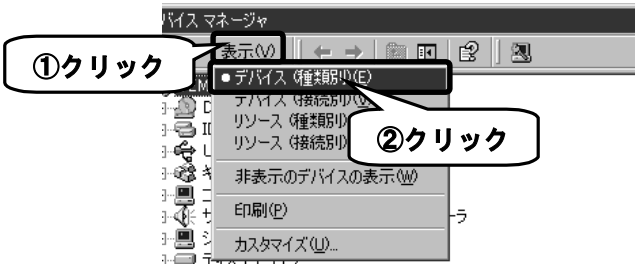
インストール後の確認(Windows 2000)

本製品がWindows 2000上で正常に認識されているかどうかを[デバイスマネージャ]で確認します。[デバイスマネージャ]上で正しく表示されていればインストール作業は正常に完了しています。

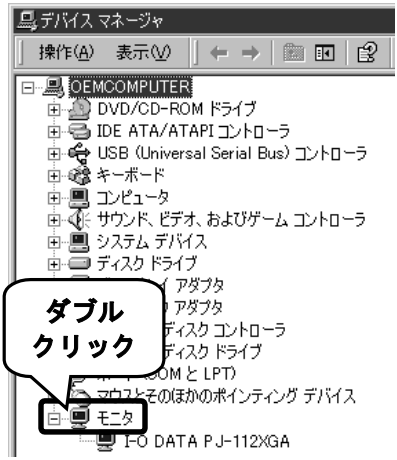
1 **[マイコンピュータ] を右クリック→ [プロパティ] をクリックします。**
[システムのプロパティ] が起動します。

2 **[ハードウェア] タブ→[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。**

3 **[表示] →[デバイス（種類別）]をクリックします。**



4 **［モニタ］をダブルクリックします。**



5 **本製品が正常に認識されていることを確認します。**

［モニタ］下に［I-O DATA PJ-112XGA］が表示されている場合は、正しく認識されています。

正しく表示されていれば正常です。

本製品をお使いください。

参考

解像度・色数の変更は、デスクトップ上を右クリック→［プロパティ］をクリック→［画面のプロパティ］で行ってください。

Windows Me/98 の場合

※ 画面はWindows 98のものです。

1 Windows を起動します。

本製品が自動的に認識されます。

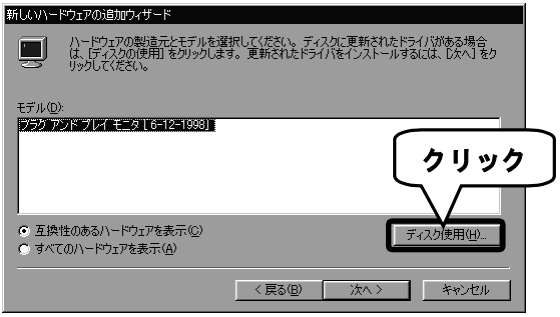
2 ［次へ］ボタンをクリックします。

Windows Meの場合は、［ドライバの場所を指定する］をチェックし、［次へ］ボタンをクリックします。

3 ［特定の場所にあるすべての…］をチェック→［次へ］ボタンをクリックします。

Windows Meの場合も、同様の項目をチェックし、［次へ］ボタンをクリックします。

4 ［ディスク使用］ボタンをクリックします。

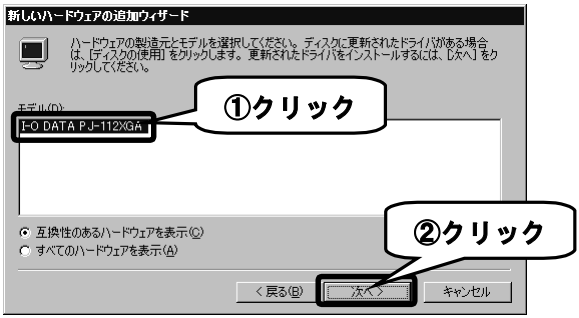


5 「PJ-112XGAサポートソフト」をCD-ROMドライブにセットします。

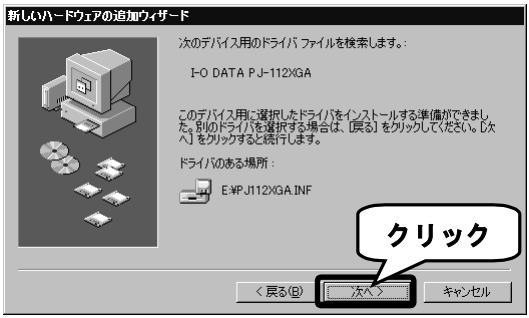
6 ［配布ファイルのコピー元］でCD-ROMドライブを指定→［OK］ボタンをクリックします。

▼ CD-ROMドライブがEの場合の指定例

7 [I-O DATA PJ-112XGA] をクリック→[次へ]ボタンをクリックします。



8 [次へ] ボタンをクリックします。



9 [完了] ボタンをクリックします。

以上でWindows Me/98へのインストールは終了です。
次は【インストール後の確認（Windows Me/98/95）】（55ページ）にお進みください。

Windows 95 4.00.950/4.00.950a の場合

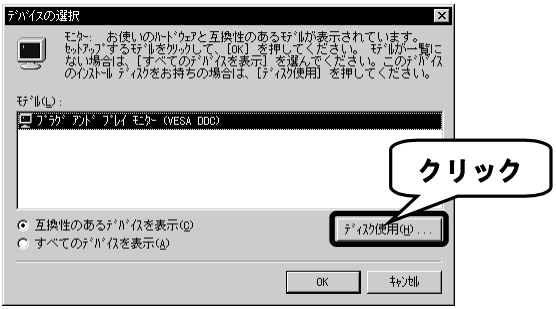
1 **Windows 95を起動します。**

2 **デスクトップ（壁紙）を右クリック→［プロパティ］をクリックします。**
［画面のプロパティ］が起動します。

3 **［ディスプレイの詳細］タブ→［ディスプレイの変更］ボタンをクリックします。**

4 **［ディスプレイの種類］覧の［変更］ボタンをクリックします。**

5 ［ディスク使用］ボタンをクリックします。

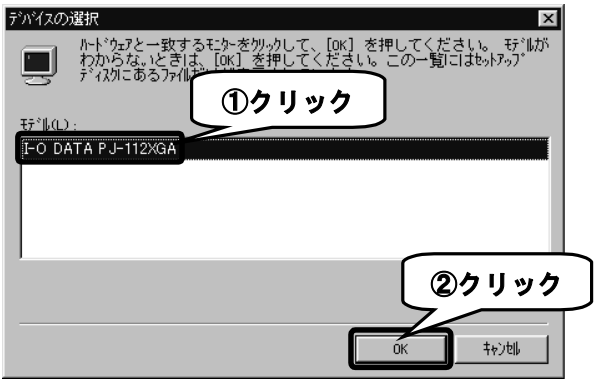


6 「PJ-112XGAサポートソフト」をCD-ROMドライブにセットします。

7 ［配布ファイルのコピー元］でCD-ROMドライブを指定→［OK］ボタンをクリックします。

▼ CD-ROMドライブがEの場合の指定例

8 [I-O DATA PJ-112XGA] をクリック→[次へ]ボタンをクリックします。



9 [閉じる] ボタンをクリックします。

10 あとは画面の指示に従い、 [OK] ボタンをクリックします。

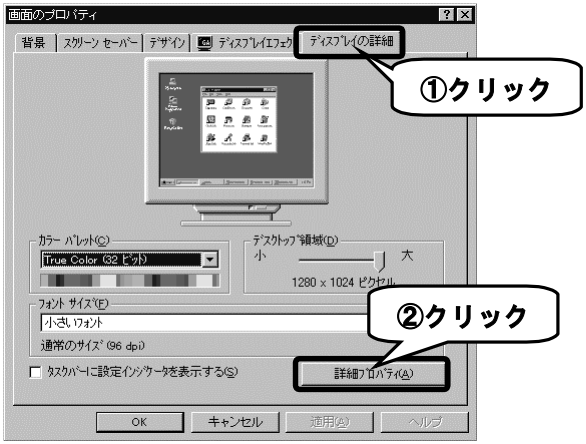
以上でWindows 95 4.00.950/4.00.950aへのインストールは終了です。
次は【インストール後の確認（Windows Me/98/95）】（55ページ）にお進みください。

Windows 95 4.00.950 B/4.00.950 C の場合

1 **Windows 95を起動します。**

2 **デスクトップ（壁紙）を右クリック→［プロパティ］をクリックします。**
［画面のプロパティ］が起動します。

3 **［ディスプレイの詳細］タブ→［詳細プロパティ］ボタンをクリックします。**



4 **[モニター]タブ→［変更］ボタンをクリックします。**

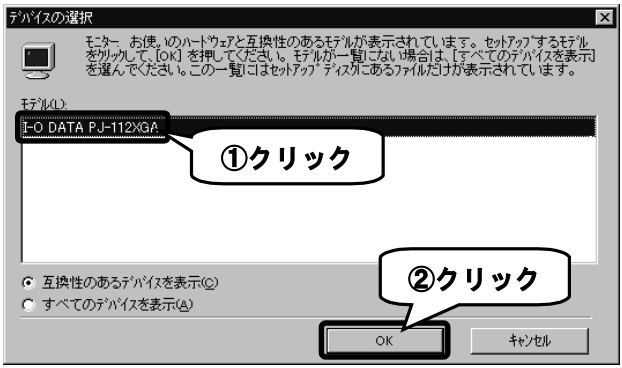
5 **［ディスク使用］ボタンをクリックします。**

6 **「PJ-112XGAサポートソフト」をCD-ROMドライブにセットします。**

7 **［配布ファイルのコピー元］でCD-ROMドライブを指定→［OK］ボタンをクリックします。**

▼ CD-ROMドライブがEの場合の指定例

8 [I-O DATA PJ-112XGA] をクリック→[次へ]ボタンをクリックします。



9 あとは画面の指示に従い、[OK] ボタンをクリックします。

以上でWindows 95 4.00.950 B/4.00.950 Cへのインストールは終了です。
次は【インストール後の確認（Windows Me/98/95）】（次ページ）にお進みください。

インストール後の確認(Windows Me/98/95)

本製品がWindows Me/98/95上で正常に認識されているかどうかを[デバイスマネージャ]で確認します。[デバイスマネージャ]上で正しく表示されていればインストール作業は正常に完了しています。

1 **［マイコンピュータ］を右クリック→［プロパティ］をクリックします。**
［システムのプロパティ］が起動します。

2 **［デバイスマネージャ］タブをクリック→［種類別に表示］をチェックします。**

PC98-NXシリーズで「デバイスマネージャ」タブが表示されない

1 **［スタート］→［プログラム］→［Cyber Trio-NX］(［NXユーティリティ］または［NXの設定］)→［Cyber Trio-NXセットアップ］を選択します。**

2 **［アドバンスモード］にチェックし、Windowsを再起動します。**

3 **再度手順の 1 から行います。**

3 **［モニタ］をダブルクリックします。**

4 **本製品が正常に認識されていることを確認します。**

［モニタ］下に［I-O DATA PJ-112XGA］が表示されている場合は、正しく認識されています。

正しく表示されていれば正常です。

本製品をお使いください。

参考

解像度・色数の変更は、デスクトップ上を右クリック→［プロパティ］をクリック→［画面のプロパティ］で行ってください。

ふろく

困ったときには 58ページ

トラブル発生時にご覧ください。

ランプモジュールの交換 61ページ

ランプの寿命がきたら、取り替えてください。

リモコンに電池をセット 63ページ

はじめてリモコンに電池をセットする場合や、電池を取り替える場合にご覧ください。

メニューの初期値一覧 64ページ

メニューの各項目の初期値です。

用語解説 65ページ

ハードウェア仕様 66ページ

困ったときには

ご使用中にトラブルが発生した場合にご参照ください。

画面になにも表示されない

- レンズキャップ（14ページ）を外してあるか確認してください。また、本製品の電源がオン（電源ランプが緑点灯）になっているか確認してください。
- すべてのケーブルと電源ケーブルが、【接続する】（10ページ）で説明されているようにしっかりと接続されているかどうか確認してください。
- 各コネクタのピンが曲がったり、壊れていないか確認してください。
- ランプモジュールがしっかりと装着されているかどうか確認してください。詳しくは、【ランプモジュールの交換】（61ページ）をご覧ください。

・画面が一部しか表示されない
・スクロールしてしまう
・正しく表示されない　など

- パソコンでご使用の場合は、解像度を1024×768に変更してください。
- ノートパソコンをご使用の場合は、前述と同様に解像度を変更し、ノートパソコンの設定で、ディスプレイを「外部モニターのみ」もしくは「CRTのみ」の設定（映像信号を外部に出力する設定）にしてください。詳しくはノートパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 解像度の変更が困難だったり、ハングアップが発生した場合は、すべての機器と本製品の電源をいったんオフにしてから、改めてオンにしてください。

ノートパソコンを接続すると、ノートパソコンの液晶画面がでない

- ノートパソコンの場合、本製品のような外部の出力装置を接続すると、ノートパソコンの液晶画面が自動的にオフになるものがあります。ノートパソコンの取扱説明書をご覧になり、液晶画面と本製品の両方に映像がでるように設定してください。
- PowerBookの場合は、[コントロールパネル]から[PowerBookディスプレイ]を開き、[ビデオモニター]を[オン]にしてください。

画面が不安定、またはちらつく

- メニューで「トラッキング」を調整してください。（25ページ参照）
- モニターカラー設定をパソコンから変更してください。

画面に縦のちらつき線がでる

- メニューで「周波数」を調整してください。（25ページ参照）

画面のフォーカスが合わない

- フォーカスリングで調整してください。
- スクリーンとプロジェクタ間の距離をご確認ください。スクリーンとプロジェクタ間の距離が1.2m以内、または10m以上の場合、うまくフォーカスを合わせることはできません。

パソコンで使用時に、解像度を変更したら、画面が乱れた（何も表示されなくなった）

● 本製品の仕様外の解像度やリフレッシュレート（垂直周波数）を設定された為と思われます。すぐに「ESC」キーを押してください。
それでも改善されない場合は、以下の方法にて設定を変更してください。

※ Windows NT 4.0の場合は、起動時に「VGA MODE」を選択し、③からの操作を行ってください。

① Windows 起動ロゴが表示される前あたりで、キーボードの[F8]キーを断続的に何回か押します。
押し続けないでください。

② 起動メニューが表示しますので、[3.SafeMode]を選択します。
（Windows XP は[セーフモード]→[Microsoft Windows XP Professional]もしくは[Microsoft Windows XP Home Edition]を選択します。）

③ セーフモードでWindowsが起動しますので、デスクトップ（壁紙）部分で右クリックし[プロパティ]をクリックします。

④ [画面のプロパティ]が起動しますので、[設定]タブをクリックし、（Windows 95は、[詳細]タブ）解像度を640×480もしくは800×600に指定します。
変更できない状態なら、そのまま[OK]ボタンをクリックします。

⑤ Windowsを再起動します。

⑥ 再起動後、再度画面のプロパティより、画面の解像度を設定してください。設定後には必ず[適用]ボタンをクリックしてください。
【パソコン解像度/周波数対応表】（67ページ）をご覧になり、表示可能な解像度に設定してください。

ビデオテープを再生したが、正しく表示されない

● 劣化したビデオテープの場合、正しく表示できない場合があります。
新しいビデオテープで試してください。

ランプモジュールの交換

本製品は自動的にランプの寿命を検出し、ランプの寿命が少なくなると、警告メッセージを表示します。この場合は、すぐにランプモジュールを交換してください。
1時間ほど放置し、余熱が取れてからランプモジュールを交換してください。

交換用のランプモジュール「PJ-112LMP」を別途お求めください。
弊社指定以外のものはご使用いただけません。

注意！

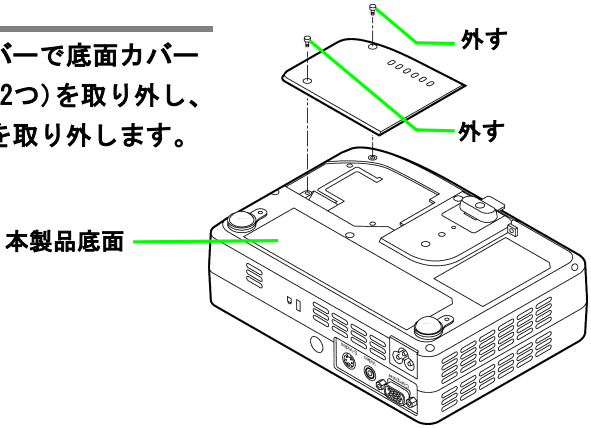
- **ご使用直後はランプモジュールは大変高温になっています。絶対に触れないでください。やけどの恐れがあります。**
- **ランプモジュールの交換はご使用後1時間程度放置し、余熱が取れてから行ってください。**
- **ランプモジュールを落とさないようご注意ください。ガラスが散り、けがをする恐れがあります。**
- **ランプモジュールのお取り扱い時は、手袋などをして素手ではさわらないようにしてください。**
- **ランプモジュールのプラスチック部分以外は、絶対にさわらないでください。破損する恐れがあります。**

1 **本製品の電源を切ります。**
【電源をオフにする】（15ページ参照）

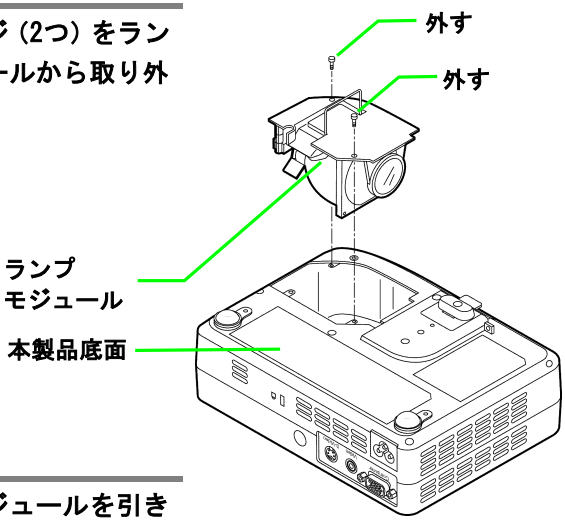
2 **1時間程度放置し、余熱を取ります。**

3 **本製品に接続されているすべてのケーブルを外します。**

4 **ドライバーで底面カバーのネジ(2つ)を取り外し、カバーを取り外します。**



5 内部のネジ（2つ）をランプモジュールから取り外します。



6 ランプモジュールを引き出します。

7 以上の手順を逆から行い、新しいランプモジュールを取り付けます。

8 ランプモジュール交換後は、【メニューの操作方法】（20ページ）の手順を参考に、メニューの[設定]→[ランプ時間をリセット]の[はい]を実行します。

注意！

手順 4 のカバーを取り外した状態では、本製品の電源はオンになりません。必ずカバーを取り付けてご使用ください。

リモコンに電池をセット

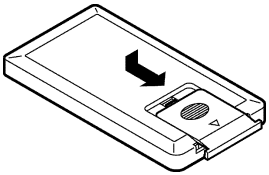
リモコンは、効きが悪くなったらリチウム電池（CR2025）1個を別途用意し、交換してください。なお、添付のリチウム電池は、動作確認用のものです。確認後は新しいものと交換してください。

注意！

- **リチウム電池（CR2025）を1個ご用意ください。**
- **電池には、極性があります。＋極と－極の向きに注意してセットしてください。**
- **電池を交換してもリモコンが使えない場合は、極性が間違っている可能性があります。極性を確認してください。**

1 **カバーを外します。**

軽く押さえながら引き出します。

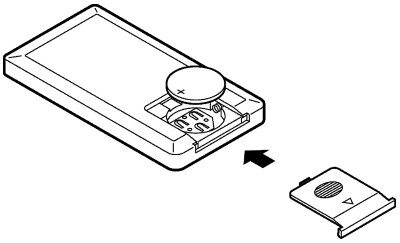


2 **古い電池が入っている場合は取り出し、新しい電池をセットします。**

極性に注意してセットしてください。

＋極が上になります。

3 **1 で外したカバーを取り付けます。**



メニューの初期値一覧

以下はメニューの各項目の初期値です。

●言語選択

言語選択	日本語

●全画面

明度	50
コントラスト	50
画像の最適化	パソコン入力時は10、ビデオ入力時は2
色温度	3
キーストーン調整	0
ズーム	1
縦横比	4 : 3
リセット	―

●PiP（ピクチャーインピクチャー）

PiP	オフ
PiP位置	左上
PiP入力切替	―
リセット	―

●コンピュータ画像

オートイメージ	―
周波数	―
トラッキング	―
水平位置	50
垂直位置	50
リセット	―

●設定

メニュー位置	中央
投影方式	前面投影
ランプ時間	―
ランプ時間をリセット	―
リセット	―
ファクトリーリセット	―

●ビデオ画像

彩度	50
鮮明度	50
色相	50
リセット	―

用語解説

DLP™(Digital Light Processing)

米TEXAS INSTRUMENTS TECHNOLOGY社が開発したデジタルライトプロセシングと呼ばれる新しい映像技術で、DMD（デジタルマイクロミラーデバイス）という光半導体を中心にして開発されました。

OSD(On Screen Display)

投影画面の一部に設定値を表示しながら、設定が可能な画面の機能。本製品では、OSDを使ってメニューを表示しています。

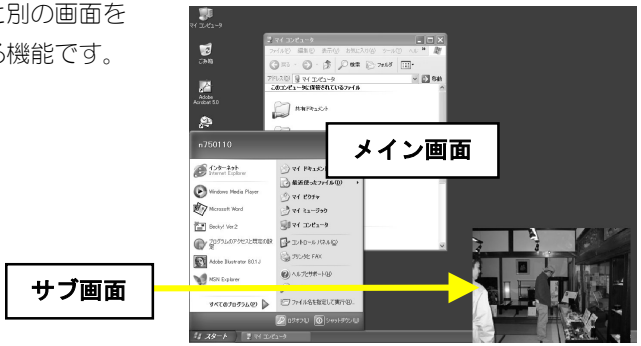
ANSI ルーメン

ANSI（American National Standards Institute）が定めたプロジェクタの明るさを表す単位（光束の単位）です。

ピクチャーインピクチャー

パソコン画面（メイン画面）を投影中に、サブ画面でビデオ画面も表示します。

パソコン画面と別の画面を同時に表示する機能です。



ハードウェア仕様

● 本体仕様

投写方式	0.7シングルチップDLP™テクノロジー
コントラスト	2000:1※
輝度	1100ANSIルーメン※
ビデオ対応信号	NTSC/PAL
解像度	1024×768
投写レンズF	2.8～3.1
f (mm)	25.8～30.0
ランプ（光源出力）	120W P-VIPランプ
ランプ寿命	1,500時間 （輝度が50%以下になるまでの目安）
ズーム方式/方法	光学/手動
倍率	1.16
フォーカス方式	手動
映像入力端子	アナログRGB、コンポジットビデオ、Sビデオ
映像入力信号	アナログRGB、コンポジットビデオ、Sビデオ
外形寸法(W×D×H)	198×148×57mm
質量	980g
使用温度条件	動作時：+5℃～+35℃ 収納時：-20℃～+60℃
使用湿度条件	20%～80%(結露なきこと)
定格電圧	AC100V　50/60Hz
消費電力	最大165W
盗難防止用ホール	対応

※ Typ：Typical（使用中の標準的な数値）

● パソコン解像度/周波数対応表

	表示モード	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）
	720×400	31.5	70.1
Windows	640×480	31.5	59.9
		37.9	72.8
		37.5	75.0
		43.3	85.0
	800×600	35.2	56.3
		37.9	60.3
		46.9	75.0
		48.1	72.2
		53.7	85.1
	1024×768	48.4	60.0
		56.5	70.1
		60.0	75.0
		68.7	85.0
	1280×1024※	64.0	60.0
		80.0	75.0
Power Macintoshシリーズ	832×624	49.7	74.5
	1024×768	60.2	74.9
	1152×870※	68.7	75.1

※ ダウンスケーリング（縮小表示）で表示します。

注意！

- パソコンからの信号は全てノンインタレースであること。
- Power Macintoshシリーズでご使用の場合は、別途市販のMacintosh用接続変換コネクタが必要になる場合があります。
- 表示解像度、表示色数は接続するグラフィックボードによって異なります。
- コンポジットシンクおよびシンクオングリーンには対応していません。

お問い合わせ

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターのみで受け付けています。

① まず、弊社ホームページをご確認ください。

本書【困った時には】で解決できない場合は、サポート Web ページ内の「製品 Q&A、News その他」もご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらもご参考ください。

http://www.iodata.jp/support/

製品Q＆A
News など

添付のサポートソフトをバージョンアップすることで解決できる場合があります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のサポートソフトをダウンロードしてお試しください。

http://www.iodata.jp/lib/

最新
サポートソフト

② それでも解決できない場合は…

住所： 〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器 サポートセンター

電話： 本社…**076-260-3646** 東京…**03-3254-1036**
※受付時間 9:30～19:00 月～金曜日（祝祭日を除く）

FAX： 本社…**076-260-3360** 東京…**03-3254-9055**

インターネット： http://www.iodata.jp/support/

・お知らせいただく事項について

サポートセンターへお問い合わせいただく際は、事前に以下の事項をご用意ください。

1. ご使用の弊社製品名
2. ご使用のパソコン本体の型番
3. ご使用のOSとサポートソフトのバージョン
4. トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態（画面の状態やエラーメッセージなどの内容）

修理について

修理の前に

故障かな？と思ったときは、
①本書をもう一度ご覧いただき、設定などをご確認ください。
②弊社サポートセンターへお問い合わせください。
（【お問い合わせ】をご覧ください）

明らかに故障の場合は、下記内容を参照して、本製品をお送りください。

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●お客様が貼られたシールなどについて
修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について
・保証期間中は、無料修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。
・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）
修理しないとご判断いただきました場合は、無料でご返送いたします。

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください
お送りいただく製品の製品名、シリアル番号（製品に貼り付けてあります。）、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください
・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）
※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。
・以下の内容を書いたもの
返送先［住所/氏名/(あれば)FAX 番号］, 日中にご連絡できるお電話番号,
ご使用環境（機器構成、OS など）, 故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください
・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。
・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。
※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください
・修理は以下の送付先までお送りください。
※ 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒920-8513 石川県金沢市桜田町 2 丁目 84 番地
アイ・オー・データ第 2 ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理センター宛

修理品の返送

・修理品到着後、通常約 1 週間ほどで弊社より返送できます。
※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

PJ-112XGA 取扱説明書
2003.May.21　133116-01
発　行　　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

© 2003 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品及び本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。